

第2号議案

令和7年度事業計画(案)について

1. 定時総会

日程: 令和7年7月16日(水)

場所: レンブラントホテル大分 2階「二豊の間」

(講演会)

演題「“人がいない”を越えていく。地方企業が選ばれるための採用戦略」

講師 ファンシップ株式会社 代表取締役 小宮 仁至 様

2. マッチング事業

① コーディネーターによるマッチング

おおいた食品産業企業会コーディネーター 西川 学

〈活動内容〉

- ・ニーズに応じた委託加工企業の調査・紹介
- ・農林水産部等との連携による加工用原材料などの調査・紹介
- ・会員企業の困りごとに対する相談対応

3. 商品開発

① 食品オープンラボの運営

各種加工食品の製造、殺菌、充填から試作品の簡易評価・分析まで、一連の製品開発を支援

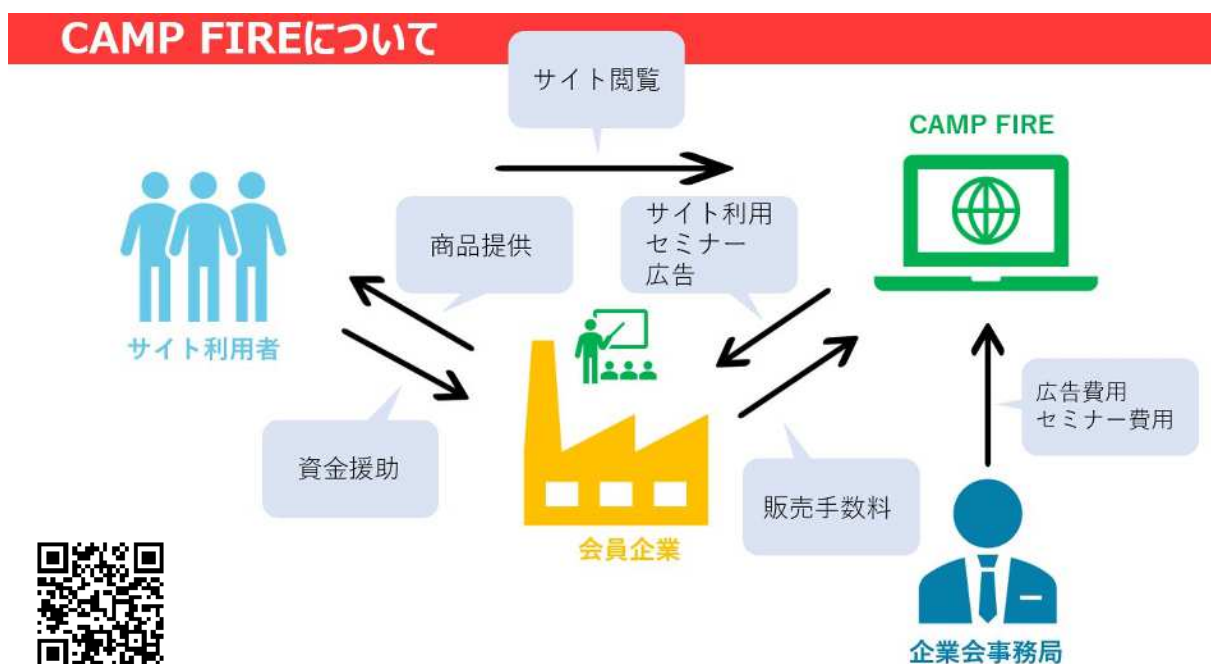
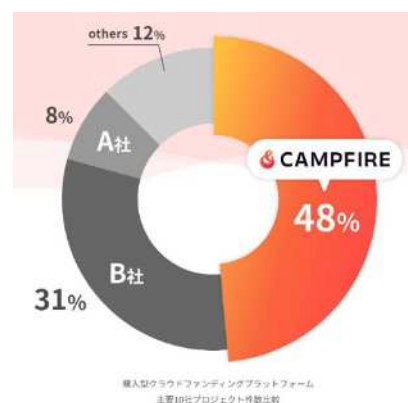
② クラウドファンディング

開発した新商品のテストマーケティングの場として、クラウドファンディングサイト「CAMPFIRE」を活用し、会員企業の新商品開発、販路拡大に繋げる。

- ・クラウドファンディングサイト「CAMPFIRE」への登録支援
- ・有効活用するための学習会の開催
- ・CAMPFIRE会員へのメルマガ配信

◆CAMPFIREについて

- ・国内最大手(シェア率48%)
- ・手数料17%+税(業界2番手は18.2%+税)
- ・PV数 1,600万
- ・会員数400万人以上
- ・累計支援金額850億円以上



③ 坐来大分監修商品開発推進事業（新規）

坐来大分料理長監修のもと実施する新商品開発を支援する。
完成した新商品は都内バイヤーや飲食店を中心に販促

4. 人材育成への対応

① 商品開発人材育成研修

商品開発の一連の流れを実践形式で体験できる研修

・実施回数: 全3回(6月~12月)

・テーマ

第1回「商品評価・訴求力向上」

第2回「開発を支える技術」

第3回「商品訴求討議」

② 食品基礎力育成研修

商品開発、品質管理、生産管理、コーチングなど工場長を務められる人材の育成を推進

・実施回数:全10回程度(7月～翌3月)

・テーマ

第1回「グループミーティング デジタル化現状把握」

第2回「工場原価計算の必要性」

第3回「原価計算の実習(1)」

第4回「原価計算の実習(2)」

第5回「食品製造の基礎知識、関連法」

第6回「HACCP のための衛生管理」

第7回「食品表示の最新情報」

第8回「コーチング」

第9回「工場見学会」

第10回「商品開発・マーケティング」

5. 販路開拓

① 食品安全強化セミナー（拡充）

アメリカでは、食品安全強化法(FSMA)が2011年に制定され、HACCPが義務化されたところ、2016年には同法103条の適用が開始となり、HACCPから次世代型HACCPといわれる「HARPC(ハーブシー)」へと移行されている。近い将来、日本からの食品関係輸入にも義務化されることが想定されるため、HARPCや食品業界を取り巻く国際情勢についてのセミナーを開催する。

・食品安全強化セミナー 実施回数 1回(6月)

・食品安全計画作成講座 実施回数 4回(6月～12月)

・FDQI 食品防御適格者養成講座 実施回数 2回(7月、12月)

② 展示会、商談会への出展

・FOOD WAVE 2025 OSAKA(R7.7)

・Food EXPO Kyushu2025(R7.10)

・通販食品展示商談会(R7.10)

・沖縄大交易会 2025(R7.11)

・FOOD STYLE Kansai2026(R8.1)

・FOOD WAVE 2026 NAGOYA(R8.1)

・SMTS2026(R8.2)

※展示商談会に向けたセミナーも実施

③ デジタルマーケティング販路開拓支援事業

～おおいた食のたすきプロジェクトの推進～

令和2年度運用を開始した企業会ホームページ(おおいた食のたすき)のコンテンツを充実させ、県内食品企業と県外企業とのマッチングを促進

- ・会員企業の取材記事の充実
(年 20 社程度を新規/更新、各企業の受賞歴等も掲載)
- ・マッチングに特化したサイトへの改修
- ・Shutto 翻訳の搭載
- ・メルマガ など

すべては

「**美味しい**」のために。

はじめて食べた忘れられないあの味。

口にした瞬間の感動は今でも鮮明に覚えている。

時代を超えて受け継がれる技術と作り手の想い。

大分県から日本中に繋いでいく「食のたすき。」

新しい「美味しい」が生まれるために

私たちは繋いでいく。

私たちの想い



令和7年度予算(案)

収入の部

(単位:千円)

科 目	7年度 当初予算額 (A)	6年度 当初予算額 (B)	増 減 (A)-(B)	備 考
会 費	2,220	2,220	0	
負 担 金	25,116	25,149	▲ 33	大分県負担金(事業費の減)
繰 越 金	4,433	3,693	740	
収 入 計	31,769	31,062	707	

支出の部

(単位:千円)

科 目	7年度 当初予算額 (A)	6年度 当初予算額 (B)	増 減 (A)-(B)	備 考
マッチング事業費	4,309	4,268	41	
商品開発事業費	3,150	2,550	600	
オープンラボ運営費	2,000	2,000	0	
クラウドファンディング事業費	550	550	0	
坐来大分監修商品開発推進事業費	600	0	600	新規事業による皆増
人材育成事業費	4,160	5,766	▲ 1,606	
うち、食品基礎力育成研修	1,036	1,036	0	
うち、商品開発人材研修会費	3,124	4,730	▲ 1,606	講義回数見直し（5回→3回）による減
販路開拓事業費	15,648	14,108	1,540	
うち、H A C C P等支援事業費	2,255	165	2,090	食品安全計画作成講座（4回）、FDQI資格者養成講座（2回）の追加による増
うち、おおいた食のたすきプロジェクト事業費	6,657	6,657	0	
うち、越境EC（BtoC）事業費	0	330	▲ 330	事業見直しによる減
うち、越境EC（BtoB）事業費	0	220	▲ 220	事業見直しによる減
うち、フードエキスポ九州出展事業費	700	0	700	大分県産業創造機構との費用負担の調整による事業費の増減
うち、フードスタイル九州出展事業費	460	460	0	
うち、通販展示商談会出展事業費	300	220	80	
うち、沖縄大交易会出展事業費	300	649	▲ 349	
うち、フードスタイル関西出展事業費	1,140	606	534	
うち、SMT S出展事業費	2,200	4,801	▲ 2,601	
うち、中小企業販路拡大ステップアップ応援事業費	1,636	0	1,636	
事務局経費	2,406	2,900	▲ 494	臨時的経費（10周年記念セミナー）の減
次年度繰越金	2,096	1,470	626	
支 出 計	31,769	31,062	707	